



## 特発性炎症性筋疾患患者における悪性腫瘍検索の意義と最適なスクリーニング方法の追究

2014年8月1日から2023年10月30日までに日本医科大学付属病院リウマチ・膠原病内科に通院あるいは入院され特発性炎症性筋疾患と診断された患者さん

### 研究協力をお願い

当科では「特発性炎症性筋疾患患者における悪性腫瘍検索の意義と最適なスクリーニング方法の追究」という研究を倫理委員会の承認並びに院長の許可のもと、倫理指針及び法令を遵守して行います。この研究は、2014年8月1日以降に日本医科大学付属病院リウマチ・膠原病内科を受診し特発性炎症性筋疾患（以下、筋炎と略します）と診断された患者さんにおいて、悪性腫瘍スクリーニングによる悪性腫瘍診断の実態を調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。2023年10月30日以前に受診されました対象患者さんについては、直接のご同意はいただかずにこの掲示によるお知らせをもって実施いたします。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

### (1) 研究の概要について

研究課題名：特発性炎症性筋疾患患者における悪性腫瘍検索の意義と最適なスクリーニング方法の追究  
研究期間：研究実施許可日～2028年3月31日  
研究責任者：日本医科大学付属病院 リウマチ・膠原病内科 大学院教授 桑名 正隆

### (2) 研究の意義、目的について

筋炎を有する患者さんは悪性腫瘍を発症するリスクが高いことが知られており、筋炎診断時に適切な悪性腫瘍スクリーニングを行うことが重要です（スクリーニングとは、まだ症状の現れていない人に対して、病気を見つける目的で行う検査です）。一方で、どのようなリスクを有する患者さんにどのような順序、組み合わせで各スクリーニング検査を実施するべきかについては科学的根拠が乏しい状況です。本研究では、筋炎の患者さんを対象に、悪性腫瘍スクリーニングとして実施された検査の内容、また各検査における悪性腫瘍診断率を検証し、最適な悪性腫瘍スクリーニング方法を明らかにすることを目的といたします。

### (3) 研究の方法について（研究に用いる試料・情報の種類）

2014年8月1日以降に日本医科大学付属病院リウマチ・膠原病内科を受診され、筋炎と診断された患者さんについて、以下の情報を収集し、各悪性腫瘍スクリーニング検査の悪性腫瘍診断率および悪性腫瘍が診断された患者さんの臨床情報を比較検討致します。

試料：なし

情報：年齢、性別、人種、喫煙歴、悪性腫瘍の家族歴、筋炎の診断名、筋炎に関連する臨床症状、血液・画像検査結果および治療内容、悪性腫瘍スクリーニングのために実施された検査の内容および検査結果、最終受診日および受診日の状況  
収集された情報をもとに、悪性腫瘍スクリーニング目的に実施された検査の内容、また各検査における悪性腫瘍診断率を検証します。

### (4) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用いたしません。また、研究発表時にも個人情報は使用いたしません。その他、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省・経済産業省）」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

### (5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表いたします。

### (6) 問い合わせ等の連絡先

日本医科大学付属病院 リウマチ・膠原病内科 准教授 五野 貴久  
〒113-8603 東京都文京区千駄木 1-1-5  
電話番号：03-3822-2131（代表） 内線：27591  
メールアドレス：t-gono@nms.ac.jp